

令和7年3月31日

令和6年度 東京都立青山特別支援学校 学校経営報告

校長 中澤 将人

1 重点項目

- 児童・生徒、保護者、地域から信頼され、教職員が安心して勤務できる学校
- 教職員の特別支援教育の専門性の向上を図り、組織力を高め持続可能な学校の構築
- 児童・生徒の自己肯定感、自己有用感を育むキャリア教育の推進
- 児童・生徒が主体的に学べる環境設定「青山ベーシック」の確立
- 児童・生徒の健康づくりの推進及び定着

2 具体的な方策と取組目標に対する結果

【標語】 A：達成 (目標以上) B：ほぼ達成 (目標の90%以上)
C：やや未達成 (目標の80%以上90%未満) D：未達成 (目標の80%以下)

1 学習指導

NO	具体的な方策・取組目標 (成果指標)		結果
1	方策	個別指導計画、学校生活支援シート等に基づいた適切な指導の実施	A 計 171 件
	目標	学校評価での保護者の学習指導に関する肯定的評価 95%以上	
2	方策	東京都教育ビジョン及び「未来の東京戦略」等に基づいた ICT 機器等を活用した授業の充実	B 89.9%
	目標	学校評価での保護者及び教員の ICT 機器を活用した指導に関する肯定的評価 90%以上	
3	方策	「青山ベーシック」の確立 (児童・生徒が主体的に学習できるよう、指導方法の工夫、視覚的で分かりやすい校内表示、学習環境の構造化等の整備)	A 99.7%
	目標	学校評価での保護者及び教員の学習指導及び生活指導に関する肯定的評価 90%以上	
4	方策	児童・生徒一人一人の障害や特性に応じた指導 (視覚支援、コミュニケーション力育成等) の実践	A 98.6%
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価 95%以上	
5	方策	アセスメント等に基づいた一人 1 回研究授業の実施と授業改善	A 計 98 件
	目標	【全教員】	
6	方策	学習指導要領に準拠した授業実践をとおり、系統及び指導内容の整理等の年間指導計画の見直し	A 令和7年 度実施
	目標	教育課程上の課題の列挙及びその教育課題解決に向けた研究計画立案・実施【4級職/教務・研究研修/全教員】	
7	方策	外部専門員等を活用した指導の充実	B 保 59 件 教 35 件
	目標	学校評価での教員の学習指導に関する肯定的評価 90%以上/ 【学校運営連絡協議会委員による評価】	

2 生活指導・進路指導

NO	具体的な方策・取組目標（成果指標）		結果
1	方策	事故0を目指し、組織的な安全点検の実施と環境整備日の実施	A
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価95%以上	98.2%
2	方策	スクールバスの円滑で安全な運行の徹底	A
	目標	連絡会毎月・研修会年2回／スクールバス関係での事故件数0件／学校評価での保護者及び教員の肯定的評価90%以上	計109件 事故0
3	方策	「青山のキャリア教育」に基づく、児童・生徒の可能性を伸ばす指導の実践と保護者への説明	A
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価90%以上	95.8%
4	方策	企業や関係機関と連携した、保護者に対する進路指導に関する研修会等の実施による情報提供の充実	B
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価90%以上	88.3%
5	方策	災害時や不審者対応の準備・取組の徹底と危機管理マニュアルの見直し	A
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価95%	99.1%
6	方策	生活年齢や発達年齢を考慮しながら、児童・生徒に身に付けさせた力を的確に把握した指導の推進	B
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価95%	計117件 保32件

3 特別活動・その他（安心・安全、健康づくり、地域交流等）

NO	具体的な方策・取組目標（成果指標）		結果
1	方策	毎月実施する「青山人権週間」を活用し、人権意識を高め、人権に配慮した教育活動の徹底（呼称、言葉遣い）、体罰、不適切な行為の撲滅	A
	目標	学校評価での保護者・教員の肯定的評価95%以上	100%
2	方策	医療的ケア安全委員会での確実な実施、アレルギー対応研修会及びマニュアルの改訂	B
	目標	食物アレルギー及び医療的ケアに関する学校事故0件	保12件
3	方策	感染予防意識を高め、使用教室等の衛生管理	B
	目標	学校評価での保護者・教員の肯定的評価95%以上	教18件
4	方策	基礎体力づくり等の継続的な実施	A
	目標	学校評価での保護者・教員の肯定的評価95%以上	計101件
5	方策	地域や家庭への理解啓発を促すための各通信等の発行	A
	目標	月1回以上	毎月発行
6	方策	近隣の小・中学校、高等学校、特別支援学校等との連携	B
	目標	各学部10回以上	5件
7	方策	区教育委員会や地域指定校との連携による副籍交流の実施	C
	目標	実施率80%	51.2%

8	方策	就学前機関（幼稚園・保育園等）や地域の小・中学校、関係機関等との連携強化と指導・助言の実施	A 136 件
	目標	年 30 回以上	
9	方策	ホームページの充実と進路だよりやセンター的機能通信、X（旧 Twitter）等、本校の情報発信	A 222 回
	目標	120 回以上	
10	方策	外部人材を活用した図書整理と読書活動の推進	B 369 件 409 冊 89.5%
	目標	年間貸し出し件数、200 冊以上／ 学校評価での保護者・教員の肯定的評価 80%以上	
11	方策	学校生活支援シート等を活用し、家庭、医療、福祉等の関係機関との引継ぎ連携	C 保 32 件
	目標	学校評価での保護者・教員の肯定的評価 95%以上	
12	方策	学校 2020 レガシーを推進するため、外部人材を活用した地域貢献の推進	B 20 件
	目標	各学部 10 回以上	

4 学校運営・組織体制

NO	具体的な方策・取組目標（成果指標）		結果
1	方策	教職員一人一人が「青山のルール」に基づいた行動の徹底	B 教 20 件
	目標	学校評価での保護者及び教員の肯定的評価 95%以上	
2	方策	組織を明確にし、教職員が個々の役割を果たし、組織力を高め、働きやすい職場環境の推進	C 教 31 件
	目標	【各種会議体、全教員】	
3	方策	ミドルリーダーを中心とした円滑な学校運営と人材育成	A 94.7%
	目標	【各種会議体、全教員】	
4	方策	校内外の関係者評価に基づく学校評価の実施	A 3 回
	目標	学校運営連絡協議会及び評価委員会、年 3 回以上	
5	方策	学校経営計画の服務事故防止研修、ヒアリング等による服務規律の徹底	A 6 回 0 件
	目標	年 5 回以上／服務事故 0 件	
6	方策	定時退庁日やの設定や諸会議等の工夫による超過勤務時間の削減	C 41.2 時間
	目標	全教職員の年間での平均超過勤務時間 25 時間以下／月、【全教員】	
7	方策	適切な予算編成及び計画的な予算執行の徹底	C 49.8%
	目標	センター契約 75%、【全教職員】	
8	方策	委託業者（給食調理、清掃業者）との円滑な連携	A 実施
	目標	連絡会月 1 回	

○学校経営計画の総括

令和5年度の学校経営計画を基本に、令和6年度の学校経営計画を作成し、学校経営計画に基づいた学校経営に努めた。しかし実際は、教育内容の充実に向けた諸課題が山積しており、改革が必要だと判断し、チーム青山による「継続と改善」からチーム青山による「改善」が中心となる学校経営になった。チームによる改善として、学校経営計画の目標達成のための実行プランや主任教諭ミッション一覧を作成して、教職員に具体的な目標や内容を提示した。また教育課程に関しては、検討プロジェクトチームを編成し、進捗状況を全体で周知し、改善に尽力した。

学校評価アンケートにおいても、令和7年度に向けて、真に必要な課題を学校経営計画として設定することと、項目数を整理（大項目4×小項目5で合計20項目）するために、特殊なアンケートの実施方法とした。

学校経営計画の達成状況は、全体的には評価Aが多い。しかし評価Cと判断した項目もある。また項目によっては、保護者と教職員で評価が逆転している項目もある。特に、学校運営・組織体制の働き方改革に関わる項目【4 学校運営・組織体制】の評価が低いことは、「改革」を断行したことによる影響が大きい。令和7年度は重点的に取り組む必要がある。

※学校評価アンケートの実施方法

- 1) 保護者、教職員、児童・生徒、経営企画室で共通もしくは重要と判断した17項目を選択し、4段階で評価した。
- 2) 1) に該当しない17項目の中から、「できている」と評価した項目を5つと「改善が必要」と判断した項目を5つ選択した。

注) 計：保護者と教職員の合計、保：保護者、教：教職員

⇒「改善が必要」と判断している項目は、令和7年度の学校経営計画等に反映させる。

⇒2)の実施目的は、令和7年度の学校経営計画において内容整理を実施するため。

○令和7年度の学校経営に向けて

令和6年度学校評価アンケートの結果や外部アンケートの分析などを反映させるなど、P（計画）D（実施）C（評価）A（改善）サイクルに基づいた学校経営計画を作成する。特に学校経営計画の方針と目標が、学校評価アンケートに直結しているとともに、保護者、教職員、児童・生徒が、身近に感じて常に意識できる学校経営計画とする必要がある。

下記のことは、令和6年度の反省などから見えてきた令和7年度の課題である。

学習指導：①学習指導要領に準拠した学習内容配当表を活用した授業の実践

②ICT機器を活用した授業の実践の推進

進路生活：①社会参画を目指したキャリア教育の推進

指導 ②生活や発達年齢を考慮した指導の推進

特別活動：①特別支援教育のセンター的機能の役割を果たす学校運営

②児童・生徒、保護者、地域から信頼を得られるための情報共有と情報発信

学校運営：①ミドルリーダーを中心とした組織的・機能的な学校運営

組織体制 ②教職員の超過勤務時間を月45時間以下にするための学校運営の推進